

か め だ え き し ゅ う へ ん

# 亀田駅周辺地区

(新潟県新潟市)

- 計 画 期 間 平成17年度～平成21年度
- 面 積 78.9ha
- 交付対象事業費 2,084百万円
- 市人口 776,468人

## ポイント

- ・ バリアフリーを踏まえた歩行空間確保
- ・ JR亀田駅を中心とした結節点機能の強化
- ・ 都市基盤整備と地域コミュニティの形成

## 地区概要

駅・駅前広場・道路を整備することで交通アクセスを快適するとともに安心して安全な歩行空間整備を図り、地域コミュニティの場を提供することで回遊性を創出し活気ある街を目指す。

**目 標** 駅を中心とする地区の一体的整備に伴う環境の向上及び、交流人口の増加

## 指 標

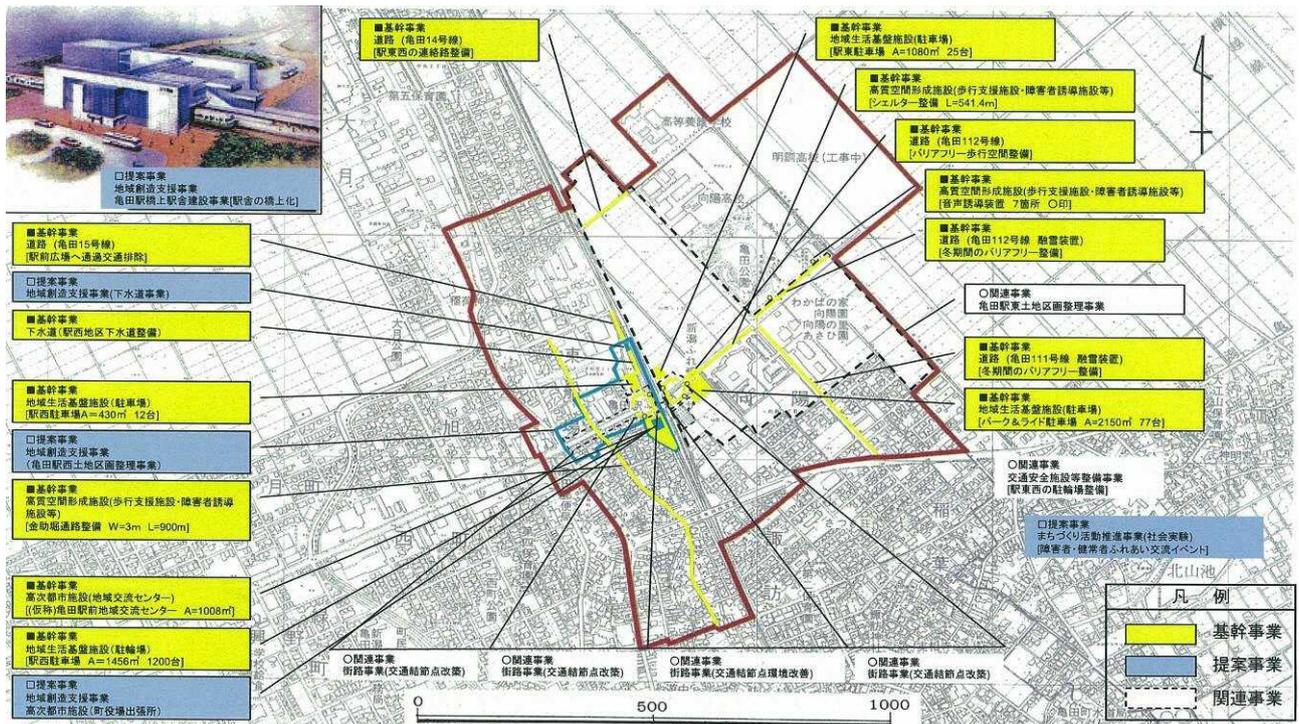
JR亀田駅を中心とした、都市基盤整備を進める中で、地区内での定住人口増加及び交流人口

指 標	従前値	目標値	実績値
地区内定住人口の増加	2,239人 (H16) →	4,000人 (H21) →	3,359人 (H22)
交流人口の増加	400人/年 (H14) →	1,000人/年 (H21) →	4,942人/年 (H22)
JR利用者の増加	7,700人 (H14) →	9,000人 (H21) →	9,814人 (H22)

の増加を指標に掲げ当該地区内での地域コミュニティ形成を目指す。

## 事業内容

- 基幹事業 (1,374百万円) → 道路(幅員13m~19m、延長240m)、下水道(100m)、歩道融雪装置(621.3m)、駐車場(116台 3,660㎡)自転車駐車場(1,456㎡、1,200台)、地域交流センター(1ヶ所、1,008㎡)歩道整備(3m延長900m)、音声誘導装置(7箇所)
- 提案事業 (712百万円) → 駅舎・連絡通路(幅員7m、延長50m)、障害者・健常者交流イベント(社会実験)、下水道整備(40m)、区画整理事業助成、地域交流センター内市民窓口設置



## 地区の現況と課題

### 駅西地区

旧態然とした街並みとなっている亀田停車場線は駅前通としては活気が無く非常に寂れた印象がある。そのため、本来あるべき姿の駅前通りを取り戻すため、区画整理を行う。

### 駅東地区

駅からのアクセス道路・バリアフリー施設が不十分であるため、駅を中心として整備を行っていく。



▲ 旧態然とした駅前通り

## 提案事業の特徴

### JR亀田駅

亀田駅西口に改札口があり、東口に関してはなかったため、暫定的に開設はしたものの障害者施設等の立地している福祉ゾーンを形成している駅東地区では、バリアフリーの視点からその根本的解決には至ってはいない。平成17年10月に新駅舎を開設するに際し、バリアフリーに配慮した形の駅舎を整備した。



▲ JR亀田駅

### バリアフリー推進イベント

橋上駅舎の開設に伴い、広くバリアフリーに関する知識を深めることを啓発する目的で、バリアフリー推進イベントを開催。



▲ 障害者と健常者との交流イベント

## 計画策定プロセス

### 都市計画マスタープラン

住民が真に暮らしやすい都市をめざすことを基本理念に掲げ公募による住民代表を検討委員会に交え、都市計画マスタープランを策定した。



▲ 都市計画マスタープラン検討委員会

### 橋上駅舎バリアフリー検討会

駅周辺を中心としたバリアフリー設備に関して、各障害者団体の方から議論していただき計画段階でのバリアフリー施設整備に関して改善点を見出し、駅舎や駅周辺整備に向けての施設整備を検討した。



▲ バリアフリー施設検討会の模様